

基本情報						
教科・科目		国語探求 古典	・授業で使用するもの			
担当者		荻原 碧性	・教科書『古典攻略読む！問題集』（古文）明治書院 ・教科書『古典攻略読む！問題集』（漢文）明治書院 ・わかる・読める・解ける古文単語330 いいずな書店			
評価割合（試験：試験外）		試験：60 試験外：40	試験外評価については、年間を通して行う古文単語テストや授業で行う、プレゼンテーションや創作活動で評価を行う。			
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			
		理知（思考力・判断力・表現力等）	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関りの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
		探求・叡智（主体的に学習に取り組む態度）	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	5	『十訓抄』 当時の文化的背景や価値観を理解し、『十訓抄』に書かれている教訓を読み取り、なぜこの教訓が書かれたのか、この教訓を学び、現代でどのように生かしていくのかを考察する。	・文章に書かれているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる。 ・助動詞や助詞の役割を理解し、口語訳になれる。 ・敬語を理解することで、省略されている主語の理解に繋がることを実感する。 ・教訓を読み取り、実生活でどのように学んだことを生かすか考えることができる。	・鎌倉時代の文化的背景 ・用言、助動詞の復習 ・文章読解（教訓を読み取る） ・助詞の導入 ・敬語の導入	・講義 ・グループワーク ・レポート	・小テスト ・小レポート（読み取った教訓を実生活でどのように生かすか）
6 定期試験① 令和8年 6月2日－6月4日 範囲）						
6	7	『大鏡』 『史記』と比較することで、文体が同じ（紀伝体）であることを理解し、平安時代の文化的背景や価値観を通して、摂関政治の表裏で起きている様々な出来事を読みとく。	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方を理解できる。 ・当時の文化的背景や価値観を理解し、当時の政治にどのような影響を与えていたかがわかる。	・平安時代の文化的背景や政治について ・文体の特徴 ・『史記』について ・助詞、敬語 ・文章読解	・講義 ・グループワーク ・レポート	・小テスト ・小レポート（文化が政治に及ぼす影響）
7 定期試験② 令和8年 7月9日－7月11日 範囲）						
9		『小学』 偉人と俗人の価値観の違いを理解し、価値観の違いを書いた文章が、なぜ読み継がれてきた理由を考察する。	・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・偉人と俗人の違いについて理解できる。 ・漢文の句形を学ぶことが漢文を読解する上で重要であると再認識しつつ、句形を正確に捉える。	・漢文の基本句形 ・文章読解（偉人と俗人の違い） ・読み継がれてきた理由	・講義 ・グループワーク ・レポート	・小テスト ・小レポート（読み継がれてきた理由）
10		『栄花物語』 紀伝体で書かれた『大鏡』と比較し、編年体との違いを理解する。また、『大鏡』と同様の時代背景であり、題材にされたとされる人物たちも同様の系譜であるため、書かれ方の違いを理解する。	・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・『大鏡』と比較することで、紀伝体と編年体の文章の書かれ方の違いについて理解できる。 ・藤原氏の書かれ方の違いが理解できる。	・『大鏡』との比較（紀伝体と編年体の違い、藤原氏の書かれ方など） ・助詞、敬語 ・文章読解	・講義 ・グループワーク ・レポート	・小テスト ・小レポート（『大鏡』との比較）
定期試験③ 令和8年 10月20日－10月22日 範囲）						
11	12	『平家物語』 昨年読んだ巻とは別の巻を読むことにより、「軍記」「平家物語」に対しての理解を深めるとともに、「鶴」のような伝承上の生物が語り継がれた理由について考察を深める。	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自身の考察を展開できる。 ・軍記に描かれた人物の心情や言動を読み取ることができる。	・文章読解 ・中世の人々の思想や価値観 ・『平家物語』の独特な語りやリズム ・『鶴』についての資料集めや考察	・講義 ・グループワーク ・レポート	・小テスト ・小レポート（伝承上の生物が語り継がれてきた理由）
12 定期試験④ 令和8年 12月10日－12月12日 範囲）						
1		『荀子』 君子の学問とはなにか、孔子の考える学問の姿勢とは何かを読み取り、自身が勉強をする意義や勉強への取り組みをより深める。	・文章の内容や解釈を自分の知見と結び付け、勉強をする意義に対して、考えを深めることができる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。 ・残りの高校生活、大学、生涯にわたり学んでいくために、学問への姿勢について改めて考えることができる。 ・内容理解を通し、この話が書かれた時代から、今もなお、この話が読まれ続けている理由について考えることができる。	・漢文句法 ・文章読解 ・『荀子』に見られる学問に対する考え方や姿勢 ・現状の自分自身の学問に対する考え方や姿勢	・講義 ・グループワーク ・レポート	・小テスト ・小レポート（自身が勉強をする意義）
2		『源氏物語』 当時の文化的な背景を理解しつつ、『源氏物語』が後世に与えた影響について理解するし、古くから変わらぬ感性も読み取る。また、『源氏物語』の影響を受けた書物がどのように源氏物語に影響を受けているのかを考察する。	・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質を理解することができる。 ・時間の経過による、価値観や感性を読み取りつつ、古くからの人間がもつ変わらぬ感性にも注視できる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・『源氏物語』が後世の作品に与えた影響について理解できる。	・文章読解 ・平安時代の政治背景 ・『源氏物語』に影響を受けた作品	・講義 ・グループワーク ・レポート	・小テスト ・小レポート（源氏物語が後世に与えた影響）
3 定期試験⑤ 令和8年 3月4日－3月6日 範囲）						